

2

金融的支援による脱炭素化推進事業

目次

2.1

脱炭素社会の構築に向けたESGリース促進事業

- | | |
|---|----|
| ① 冷媒用コンデンシングユニットの更新による脱炭素化推進と業務効率化・品質維持の両立
(株式会社なかやま牧場) | 2 |
| ② 高効率ショーケース更新による食品ロス削減と競争力の向上の両立
(丸大大金畜産株式会社) | 4 |
| ③ サーボ駆動式機械プレスの新規導入に伴うバックアップ体制強化と生産性の向上
(多摩川ハイテック株式会社) | 6 |
| ④ 原材料予熱型工業炉導入に伴う安全性と生産効率の向上
(ユニオン機工株式会社) | 8 |
| ⑤ 高効率射出成形機導入に伴う競争力向上とサプライチェーン全体でのCO ₂ 削減への貢献
(株式会社富士精工) | 10 |

2.1 脱炭素社会の構築に向けたESGリース促進事業

①冷媒用コンデンシングユニットの更新による脱炭素化推進と業務効率化・品質維持の両立

株式会社なかやま牧場（広島県福山市／商業小売業）

【HP】 <https://www.nakayama-farm.jp/> 【備考】代表申請者 ひろぎんリース株式会社（広島県広島市／リース会社）

赤文字：該当箇所 | 灰色文字：該当外

補助事業の
紹介

補助事業名	脱炭素社会の構築に向けたESGリース促進事業
補助事業の概要	中小企業等がリースで脱炭素機器を導入する際、指定リース事業者※によるESG要素を考慮した取組やサプライチェーン上の脱炭素化に資する取組が基準を満たしている場合、脱炭素機器の種類に応じて総リース料の1～6％を指定リース事業者に対して助成を行い、補助率に応じた総リース料の減免を行う。 ※ 指定リース事業者とはリース先の選定に対してESGの要素を考慮する体制を整えているなどの一定要件を満たし、本事業において補助事業者から補助金を受ける事が出来るリース事業者のこと。
実施目的	本事業では、バリューチェーン全体での脱炭素化に貢献する中小企業等における設備投資への支援や、リース会社によるESG要素を考慮した取組の促進を通じて、バリューチェーン全体での企業における脱炭素化の取組推進を目指すものである。
交付対象	民間事業者・団体(指定リース事業者)
補助率	① 国から民間団体への補助：定額 ② 民間団体から指定リース事業者への補助：1～6％ 補助上限： 1)リース契約の補助金の対象となる脱炭素機器部分のリース料の総額が、65万円以上、2億円以内

①冷媒用コンデンシングユニットの更新による脱炭素化推進と業務効率化・品質維持の両立

事業の概要

補助金額	補助金額	約35万円
	補助率	6%
導入設備	従前設備	冷媒用コンデンシングユニット
	導入設備	冷媒用コンデンシングユニット (設備更新)
事業期間	稼働日	2024年10月
備考	導入台数	4台



冷媒用コンデンシングユニット

事業の効果

エネルギーコスト

▲約60 (万円/年)

投資回収年数

10 (年) → 9 (年)

CO₂削減効果

約12 (t-CO₂/年)

CO₂削減コスト

約0.3 (万円/t-CO₂)

副次的効果

- ・ 冷凍・冷蔵効果が向上したことにより、商品の品質が保たれお客様の安心感がより高まった。
- ・ また、ショーケース内の温度が安定し、品だしの頻度が少なくなり、従業員の作業負荷が軽減された。

※ エネルギーコストは、電力単価:22.7円/kWh(出典:電気事業連合会HP)を用いて試算したものである。

事業者の声



山田 浩彰 | 株式会社なかやま牧場 管理本部人事総務部 総務課課長

本事業を活用することで、資金繰りに悩むことなく老朽化した設備の更新を円滑に行うことができました。大幅な電気料金の削減を実現できたことはもちろん、最新機種による高精度な温度管理が可能になったことで、商品の鮮度・品質維持が向上しました。これにより、品質劣化に伴うフードロス削減という環境面・社会面での成果にもつながっています。

2.1 脱炭素社会の構築に向けたESGリース促進事業

②高効率ショーケース更新による食品ロス削減と競争力の向上の両立

丸大大金畜産株式会社（北海道札幌市／商業）

【HP】 <https://www.o-gane.co.jp/> 【備考】代表申請者 北海道リース株式会社（北海道札幌市／リース会社）

赤文字：該当箇所 | 灰色文字：該当外

補助事業の
紹介

補助事業名	脱炭素社会の構築に向けたESGリース促進事業
補助事業の概要	中小企業等がリースで脱炭素機器を導入する際、指定リース事業者※によるESG要素を考慮した取組やサプライチェーン上の脱炭素化に資する取組が基準を満たしている場合、脱炭素機器の種類に応じて総リース料の1～6％を指定リース事業者に対して助成を行い、補助率に応じた総リース料の減免を行う。 ※ 指定リース事業者とはリース先の選定に対してESGの要素を考慮する体制を整えているなどの一定要件を満たし、本事業において補助事業者から補助金を受ける事が出来るリース事業者のこと。
実施目的	本事業では、バリューチェーン全体での脱炭素化に貢献する中小企業等における設備投資への支援や、リース会社によるESG要素を考慮した取組の促進を通じて、バリューチェーン全体での企業における脱炭素化の取組推進を目指すものである。
交付対象	民間事業者・団体(指定リース事業者)
補助率	① 国から民間団体への補助：定額 ② 民間団体から指定リース事業者への補助：1～6％ 補助上限： 1)リース契約の補助金の対象となる脱炭素機器部分のリース料の総額が、65万円以上、2億円以内

②高効率ショーケース更新による食品ロス削減と競争力の向上の両立

事業の概要

補助金額	補助金額	約7万円
	補助率	5%
導入設備	従前設備	ショーケース
	導入設備	高効率ショーケース
事業期間	稼働日	2024年7月
備考	導入台数	1台



高効率ショーケース

事業の効果

エネルギーコスト※

▲約18.5 (万円/年)

投資回収年数

7.4 (年) → 7.0 (年)

CO₂削減効果

約4 (t-CO₂/年)

CO₂削減コスト

0.3 (万円/t-CO₂)

副次的効果

- ・旧設備はモーター音が大きかったが、更新設備は静かになった。
- ・扉が無かった旧設備は冷凍効率が悪く、夏場は商品が溶けて廃棄や電気代増加の問題があったが、更新設備ではそれらが解消された。

※ エネルギーコストは、電力単価:22.7円/kWh(出典:電気事業連合会HP)を用いて試算したものである。

事業者の声



大金 知一 | 大金畜産株式会社 常務取締役

この制度をリース会社からの紹介で知り活用させて頂きましたが、今後機械の入れ替え時期などで利用したいと思いました。

以前の冷凍ケースより冷凍効果が良くなり、廃棄ロスも減り電気代も減少しました。

2.1 脱炭素社会の構築に向けたESGリース促進事業

③サーボ駆動式機械プレスの新規導入に伴うバックアップ体制強化と生産性の向上

多摩川ハイテック株式会社（青森県八戸市／製造業）

【HP】 <https://www.tamagawa-hightech.co.jp/jp/> 【備考】代表申請者 三井住友ファイナンス＆リース株式会社（東京都千代田区／リース会社）

赤文字：該当箇所 | 灰色文字：該当外

補助事業の
紹介

補助事業名	脱炭素社会の構築に向けたESGリース促進事業
補助事業の概要	中小企業等がリースで脱炭素機器を導入する際、指定リース事業者※によるESG要素を考慮した取組やサプライチェーン上の脱炭素化に資する取組が基準を満たしている場合、脱炭素機器の種類に応じて総リース料の1～6％を指定リース事業者に対して助成を行い、補助率に応じた総リース料の減免を行う。 ※ 指定リース事業者とはリース先の選定に対してESGの要素を考慮する体制を整えているなどの一定要件を満たし、本事業において補助事業者から補助金を受ける事が出来るリース事業者のこと。
実施目的	本事業では、バリューチェーン全体での脱炭素化に貢献する中小企業等における設備投資への支援や、リース会社によるESG要素を考慮した取組の促進を通じて、バリューチェーン全体での企業における脱炭素化の取組推進を目指すものである。
交付対象	民間事業者・団体(指定リース事業者)
補助率	① 国から民間団体への補助：定額 ② 民間団体から指定リース事業者への補助：1～6％ 補助上限： 1)リース契約の補助金の対象となる脱炭素機器部分のリース料の総額が、65万円以上、2億円以内

③サーボ駆動式機械プレスの新規導入に伴うバックアップ体制強化と生産性の向上

事業の概要

補助金額	補助金額	約225万円
	補助率	3%
導入設備	従前設備	メカ式機械プレス
	導入設備	サーボ駆動式機械プレス
事業期間	稼働日	2025年2月
備考	導入台数	1台



サーボ駆動式機械プレス

事業の効果

エネルギーコスト※

▲約30 (万円/年)

投資回収年数

3.1 (年) → 3.1 (年)

CO₂削減効果

約6 (t-CO₂/年)

CO₂削減コスト

5.3 (万円/t-CO₂)

副次的効果

- ・ 既存マシンと同型設備のため、一方が故障した場合にもう一方の製造ラインでカバー可能なバックアップ体制が整った。
- ・ 品質向上により不良品が減少したため、材料・補助剤(アシストガス)の使用量が削減された。

※ エネルギーコストは、電力単価:22.7円/kWh(出典:電気事業連合会HP)を用いて試算したものである。

事業者の声



小笠原 秀悦 | 多摩川ハイテック株式会社 福地第一工場 板金製造部・部長

老朽化した設備を最新設備に更新したことにより加工品質が向上し、複合加工による自動化によって、大幅な工数削減が達成できました。

また、ESGリースは単なる資金調達だけではなく、サプライチェーン全体でESG対応が求められる中、大手企業との取引にも差別化が図られサステナブル企業として評価されています。

2.1 脱炭素社会の構築に向けたESGリース促進事業

④原材料予熱型工業炉導入に伴う安全性と生産効率の向上

ユニオン機工株式会社（岐阜県恵那市／製造業）

【HP】 <http://www.union-kikou.co.jp/> 【備考】代表申請者 八十二リース株式会社（長野県長野市／リース会社）

赤文字：該当箇所 | 灰色文字：該当外

補助事業の
紹介

補助事業名	脱炭素社会の構築に向けたESGリース促進事業
補助事業の概要	中小企業等がリースで脱炭素機器を導入する際、指定リース事業者※によるESG要素を考慮した取組やサプライチェーン上の脱炭素化に資する取組が基準を満たしている場合、脱炭素機器の種類に応じて総リース料の1～6％を指定リース事業者に対して助成を行い、補助率に応じた総リース料の減免を行う。 ※ 指定リース事業者とはリース先の選定に対してESGの要素を考慮する体制を整えているなどの一定要件を満たし、本事業において補助事業者から補助金を受ける事が出来るリース事業者のこと。
実施目的	本事業では、バリューチェーン全体での脱炭素化に貢献する中小企業等における設備投資への支援や、リース会社によるESG要素を考慮した取組の促進を通じて、バリューチェーン全体での企業における脱炭素化の取組推進を目指すものである。
交付対象	民間事業者・団体(指定リース事業者)
補助率	① 国から民間団体への補助：定額 ② 民間団体から指定リース事業者への補助：1～6％ 補助上限： 1)リース契約の補助金の対象となる脱炭素機器部分のリース料の総額が、65万円以上、2億円以内

④原材料予熱型工業炉導入に伴う安全性と生産効率の向上

事業の概要

補助金額	補助金額	約61万円
	補助率	4%
導入設備	従前設備	なし(増設のため)
	導入設備	原材料予熱型工業炉
事業期間	稼働日	2025年1月
備考	導入台数	1式



原材料予熱型工業炉

事業の効果

エネルギーコスト※

▲約465 (万円/年)

投資回収年数

3.3 (年) → 3.1 (年)

CO₂削減効果

約135 (t-CO₂/年)

CO₂削減コスト

0.06 (万円/t-CO₂)

副次的効果

- ・ 既存設備と比べ、新規設備は炉隙間からの火漏れがなくなり、安全性が向上した。
- ・ 増設前は、溶解時にアルミの不純物が炉壁面に付着し生産効率が落ちていたが、更新後は不純物の付着が減り生産効率が上がった。

※ エネルギーコストは、LPG単価:91,240円/t(出典:大阪ガスHP)を用いて試算したものである。

事業者の声



麦島 彰太 | ユニオン機工株式会社 取締役

本事業により、エネルギーコスト及びCO₂排出量の削減に加え、安全性と生産性も向上させることができました。これらは環境、お客様、当社従業員と多方面に良い結果になったと実感しております。

今後も引き続き、サステナブル社会の実現に向けて取り組んでまいります。

2.1 脱炭素社会の構築に向けたESGリース促進事業

⑤高効率射出成形機導入に伴う競争力向上とサプライチェーン全体でのCO₂削減への貢献

株式会社富士精工（群馬県太田市／製造業）

【HP】 <https://www.fuji-gr.co.jp/> 【備考】代表申請者 オリックス株式会社（東京都港区／リース会社）

赤文字：該当箇所 | 灰色文字：該当外

補助事業の
紹介

補助事業名	脱炭素社会の構築に向けたESGリース促進事業
補助事業の概要	中小企業等がリースで脱炭素機器を導入する際、指定リース事業者※によるESG要素を考慮した取組やサプライチェーン上の脱炭素化に資する取組が基準を満たしている場合、脱炭素機器の種類に応じて総リース料の1～6％を指定リース事業者に対して助成を行い、補助率に応じた総リース料の減免を行う。 ※ 指定リース事業者とはリース先の選定に対してESGの要素を考慮する体制を整えているなどの一定要件を満たし、本事業において補助事業者から補助金を受ける事が出来るリース事業者のこと。
実施目的	本事業では、バリューチェーン全体での脱炭素化に貢献する中小企業等における設備投資への支援や、リース会社によるESG要素を考慮した取組の促進を通じて、バリューチェーン全体での企業における脱炭素化の取組推進を目指すものである。
交付対象	民間事業者・団体(指定リース事業者)
補助率	① 国から民間団体への補助：定額 ② 民間団体から指定リース事業者への補助：1～6％ 補助上限： 1リース契約の補助金の対象となる脱炭素機器部分のリース料の総額が、65万円以上、2億円以内

⑤高効率射出成形機導入に伴う競争力向上とサプライチェーン全体でのCO₂削減への貢献

事業の概要

補助金額	補助金額	約52万円
	補助率	4%
導入設備	従前設備	なし(増設のため)
	導入設備	高効率射出成形機
事業期間	稼働日	2025年2月
備考	導入台数	1台



高効率射出成形機

事業の効果

エネルギーコスト※

▲約140 (万円/年)

投資回収年数

9.3 (年) → 9.0 (年)

CO₂削減効果

約28 (t-CO₂/年)

CO₂削減コスト

0.23 (万円/t-CO₂)

副次的効果

- ・ 既存設備では対応できなかった製品も製造可能となり、競争力向上に繋がった。
- ・ 今後、取引先の企業からCO₂算定や削減の要請が来ることが想定され、本設備の導入はその要請に対し先手を打てていると考える。

※ エネルギーコストは、電力単価:22.7円/kWh(出典:電気事業連合会HP)を用いて試算したものである。

事業者の声



伯耆原 覚 | 株式会社富士精工 経理課

- ・ ESGリースの活用による設備投資に対する支援の後押しもあり、新たな製品への対応が可能となったことでお客様からの要望に応えることができました。
- ・ 省エネ設備の新規導入により生産現場のエネルギー使用量削減に微力ながら貢献することができました。